

平成28年度

いぶよう 夏期セミナー

御案内

趣旨

- 1 幼・保，小，中，高校の教員等の特別支援教育に関する研修のニーズに対応するために，より実践的・発展的な研修機会を提供し，地域の教職員等の特別支援教育に関する専門的な理解や実践力を高める。
- 2 指宿市，鹿児島市喜入地区，南九州市穎娃地区内の医療，労働，福祉，教育の関係機関で特別支援に関する情報交換を行い，各機関における連携を深め，その実践力の向上に資する。
- 3 発達障害児（者）に対する必要な支援と適切な指導についての専門的な講話等を聴き，日々の実践力の向上を図る機会とする。
- 4 特別支援学校と地域の各学校及び関係機関との連携体制やネットワーク構築の機会とする。

日時：平成28年7月27日（水） 午前9時15分～午後4時15分

場所：鹿児島県立指宿養護学校 フレイルーム他

対象

- 指宿市，鹿児島市喜入地区，南九州市穎娃地区内の幼稚園・保育所，小学校，中学校，高等学校の教職員
- 指宿市，鹿児島市喜入地区，南九州市穎娃地区内の療育機関職員
- 南薩教育事務所，及び各市（指宿市，鹿児島市，南九州市）教育委員会関係者
- 各地区特別支援連携協議会関係者（行政機関を含む）
- 障害福祉サービス事業所，就労関係機関
- 県内特別支援学校教職員及び本校教職員

《 主な日程 》

9:00～9:15 受付 [玄関]
9:15～9:30 開会行事 [フレイルーム]
9:30～10:20 講演Ⅰ [フレイルーム]
講師：南薩教育事務所 合理的配慮協力員
宮原 幹治先生

演題「障害者差別解消法における合理的配慮について」

10:25～12:15 実技講座
12:15～13:30 昼食
13:30～14:10 講演Ⅱ [フレイルーム]
講師：子ども総合療育センター
地域支援部職員

演題「支援機関と医療の連携」

14:30～16:00 講演Ⅲ [フレイルーム]
講師：子ども総合療育センター 医師
吉田 巖先生

演題「発達障害と不登校について」

16:00～16:15 閉会行事 [フレイルーム]

参加に当たって

- 1 参加申込は、7月8日（金）までに別紙「FAX送信票」でお申し込みください。
なお、実技講座の参加希望も併せてご記入ください。
- 2 開会行事では、本校の現状や校外支援の取組状況について紹介します。
- 3 実技講座は、同封の実技講座案内をご覧になり①～④の中から第3希望までご記入ください。講座の運営上、第1希望とならない場合もありますので御了承ください。受講していただく実技講座が決定次第、本校よりご連絡いたします。

本校ホームページに本セミナーも掲載してあります。ご覧ください。

<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/ss/Ibusuki-H/>

実技講座案内

① 「発達障害児の不適切行動に対する対応」

障害のある子どもたちの中で、「授業中に大声を上げたり，教室を飛び出したりする」，「友達に暴言を吐いたり，ケンカが絶えなかったりする」など様々な不適切行動が見られることがあります。

そういった子どもたちに対してどのような対応をすればよいかについては，巡回相談の依頼内容でも上がることがあります。

子どもたちの行動を分析し，トラブルが起こる前に環境を整えたり，起こった後に適切な対応を指導したりすることが大切です。

本講座に参加される方々が抱える課題を出し合い，それらの課題に対して今後どのように対応していくかについての意見交換もできたらと考えています。

② 「WISC-Ⅲの分析結果の活かし方」

WISC-Ⅲ知能検査を複数回実施したり，分析にも携わった先生方を対象としています。昨年度は，WISC-Ⅲの検査を実施したり，実施した結果の分析方法についての講座を行いました。

今年度はそこからさらに一步踏み込んで，分析した結果を今後の指導・支援にどう活かしていくかについて話をしていきたいと思っています。

また最近では関係機関によっては，WISC-Ⅳの分析結果を提示されるケースも増えてきています。今回は，WISC-ⅢからWISC-Ⅳへ移行したことでどのような点が変わってきたのかについても簡単にお話できればと思っています。

③ 「つながりあそび・うた」

心とからだ思わず笑っちゃうつながりあそび・うたを実践的に体感します。親子，異学年，障害のある人もない人も一緒に場を共有し，手をつなぎ，存在を感じ合う，特別支援教育のエッセンスも満載！

全校で，学年，学級で，PTAで，地域で活用できるあそび，ダンス，読み聞かせ，パネルシアターなどなどもりだくさんな内容です。

まずは，わたしたち支援者がたのしくつながりましょう！

—準備するもの—
運動のできる服装 室内履き タオル 飲み物

④ 「特別支援教育の作業学習実践講座（木工編）」

桧（ヒノキ）の板材（市販品）を使って家庭用ティッシュボックスケースを作ります。

数枚の長方形の板をボンドで接着し、表面のでこぼこをカンナやペーパーで削り、仕上げを水性塗料で行います。

木目や大きさは同じ物がないので、一つだけのオリジナルなものが作れます。制作工程もいろいろ設定できるので、作業学習等でも設定できると思います。

－準備するもの－

汚れてもいい服装 タオル 材料費（500～1000円程度：桧板、塗料、ボンド、ペーパー等を含む）

※ 実技講座は上記4つの中から一つを受講してください。希望する順番に第1希望から第3希望を明記してください。講座の運営上、第1希望とならない場合もありますので、御了承ください。

また、講座によっては、御準備いただくものや、経費が必要な場合もありますので、再度講座内容等を御確認の上、申し込みください。



F A X 送 信 票

いぶよう夏期セミナー参加申込書

鹿児島県立指宿養護学校
支援部 阿久根 剛 宛

F A X 番 号 0 9 9 3 - 2 3 - 3 2 1 2

平成28年 月 日

送信者 氏 名 ()

学校・施設名	〔 〕	幼稚園・保育所	小学校	中学校	高等学校
		療育機関	就労関係機関	その他	

参加者氏名	特別支援教育 コーディネーターの方は○ をお付けください。	参加可能な欄に○をお付け ください。		実技講座の参加希望 (同封の講座案内をご覧になって第3希望までご記入ください。)			
		実技講座	講演会	① 発達障害児の不適切 行動への対応	② WISC-IIIの分析結果 の活かし方	③ つながりあそび・う た	④ 特別支援教育の作業学 習実践講座

実践協議 (講演会に おいて講師の先生に 質問等がありましたら ご記入下さい。		その他 (養護学校に対する要 望・意見、相談内容等)	
--	--	----------------------------------	--